

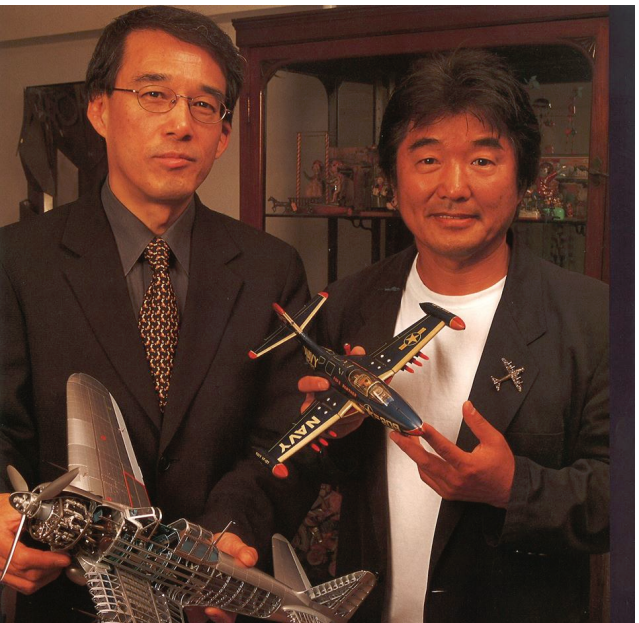
## PURE GOLD 第2部

ピュアの心を生涯持つ人にだけ青春は続く。

夢、挫折、再起 家族

夢をつかもうとする二人の主人公が成功の扉をあける。

怒涛の2部 スタート！



今 ヤノは自分がこうして生きていられるのは家族のおかげであると感謝して毎日を過ごしている。

日々、手をあわせることは叶わぬが、心の中で手を合わせ、妻と二人の娘に感謝して家族の未来に想いを馳せる。

病気が進行したのち、声が出なくなり、手や指が動かなくなっても、眼球の運動に必要な筋肉は侵されにくいので、目の動きで自分の意思を伝えることができる。

ヤノは前向きに生きようと決めたが、この目の動きで意思を伝えることがからだの不自由さを凌駕するほどの苦しみを持つことを知る

喉が渴いた

腹が空いた

トイレに行きたい から始まって、全ての行動を相手に伝えるストレスは「指先が痺れた、足が動かなくなった」という苦しみの比ではなかった。

病気の全てを受け入れた後でも、この意思の疎通ができないという苦しみはヤノの精神を蝕んだ。

「瞬きワープロ」と呼ばれる透明のボードを使って介護者とまぶたと眼球の動きだけで意思表示していく訓練はまさに絶望への扉を開けた日々の始まりだった。

何度 も喉が渴いたと意思表示を示しても、眼球の動きが介護者と疎通できない、それが数回、数十回 時には1時間かかって、一つのセンテンスが相手に理解される。

ヤノは幾度となく 「もう殺してくれ」と介護者に暴言を投げかけた。

それでも介護者は辛抱強く、「ゆっくりやりましょう」とだけ、言葉を発し、一言も反論せずにヤノとのコンタクトの訓練を共にした。

ヤノはその介護者と過ごす時間の中で何度も絶望し、涙を流したが、その涙はいつか乾くことを知った。

その涙が乾くことでヤノの中に何かが変わっていった。

幾度となく、絶望して流れる涙も乾く、感動して流れるのも涙だ。

なぜ 感動する涙も、絶望の涙も同じ涙なのに こうも感情が異なるのだろう。

同じ涙なのに、なぜ心に違いがあるのだろう。

ヤノは涙を通じて自分自身と向き合い始めた。

ヤノは全てを受け入れたがそれでも 最後に残った感情は自分が身勝手な最低な人間になってしまうことへの恐れだった。

感情を誰かにぶつけ、苛立ち、憤りを伝えても何も変わらない

ヤノは自分が別の人間になったような気がして狂いそうになった。

どんなに否定しても、ヤノは自分が変わってしまった、心が汚れてしまった感じがしてならなかった。

前向きに生きようとすればするほど、焦燥感が押し寄せた。

未来のことを想像すればするほど、大きな黒い塊がヤノを押し潰そうとした。

その時 妻がヤノにこんな話をした

いつかはみんな知るのよ

ヤノは声にならない心の声で答える

何を？

妻はその「何を？」という言葉をやノの目の動きで理解した。

動かなくなった手をさすりながら話す

未来より過去の時間が多くなったことを知るの、それはあなただけではない、私も、誰もがそう、

ヤノは言葉でなく 心でも会話ができることを知った

それは僕に対しての慰め？

妻は答える

違うわ

なら 救済かな

ヤノの目が微笑んでいる

僕は変わってしまった。

妻は答える

いいえ あなたは変わっていない 出会った頃のまま

心が汚れた気がするんだよ

いいえ あなたの心は 美しい とってもピュアよ

ピュア、本当？

目の前にいる妻はヤノの眼差しの奥にある光を見ている、そして答えた

嘘を言ってもしょうがない、何年一緒にいると思っているの？

妻が微笑んだ

結婚した頃、二人でこうして夜通し、話し合ったわ

未来のこと、あなたの仕事への夢、そして、生まれてくる子供のこ  
と、、、

ヤノも思い出す、

僕はわがままな夫だったね

好きなことだけ、夢を追いかけて、自分の生きたいように生きてき  
た

それがあなたなの、そんなあなたが好きで一緒になった

告白しようかしら

告白？ 何を告白してくれるの？

あなたが 今の病気になって、もちろん 私も苦しかった、あなたが  
別人になることが心底怖かった。

怖かった？

そう、あなたはきっと絶望から立ち直ると信じていたから、1ミリも疑っていなかった。

1ミリも？

そう 1ミリも

私の信じたとおりあなたは絶望から這い上がって、私は二人の娘を愛してくれている

でも這い上がっただけでなく、再び 夢を私たちに与えてくれた

夢、どんな夢を与えたんだろう、僕が夢を なんだろう

それはあなたが そのあなたが悪魔と呼んだ病気から完治するまで生きるという夢！

そんな ヤノの目が涙で曇った。

僕が 夢を与えたの？

そう あなたのいないところで私は二人の娘とその夢を話す

時には美味しいワインの飲みながら

ずるい ヤノは声にならない嗚咽をする

あたな 今ずるいって思ったでしょ

そうだよ ずるい ヤノは答える

あなたは変わらない

いいえ 人は変わらない

変わらない？

変わらないわ ただ 歳を重ねるだけ、

変わらない ヤノは今一番恐れていたことを妻が話してくれたことに感動している

人は順応していくの、

順応する ヤノは答える

そう 日々の喜びを知り、満ち足りていく、

私は毎日 心から満ち足りているわ

家族 や 家庭、あなたとの暮らしに娘達の成長する姿に満ち足りているわ

私は今、幸せなの

あなたは十分苦しんだ、だから もう苦しむのはやめにして

あなたの仕事は最上のものを求め続けた、それがあなたの人生を形成した、あなたは私たちにたくさん愛情を注いでくれた。

もう 苦しまなくていい

ヤノは解放された、全ての呪縛から魂が救済された瞬間だった。

ヤノのからだを縛り付けていたのはALSだけでなかった。心がヤノを締め付けていたことを今 知ったのだった。

「未来より過去の時間が多くなっただけ」の妻が放った一言でヤノの魂は救済された。

続く